

牧志駅前ほしぞら公民館



〒902-0067 那覇市安里 2-1-1
TEL 917-3443 FAX 867-0343

利用施設のご案内

牧志駅前ほしぞら公民館 平面図 (さいおんスクエア3階)



部 屋 名	利用可能人数	用 途 (備 品)
ホ ー ル	120人程度	研修会、講演会、発表会、音楽会等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
第1学習室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第2学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第3学習室	15人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
第4学習室	30人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル)
実 習 室	20人程度	料理実習、会議等 (IH調理台 (4台)、料理用器具等)
パソコン室	40人程度	研修会、会議等 (イス、テーブル、ピアノ、スクリーン)
工 作 室	15人程度	工作実習、会議等 (イス、テーブル)
和 室	15人程度	お茶、生け花、着付けの学習会等 (テーブル)
プラネタリウム	84人	プラネタリウム投影 (デジタル式、光学式)

I 牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

久茂地公民館の沿革（牧志駅前ほしぞら公民館の前身）

久茂地公民館の建物は元々、昭和41年、「沖縄子どもを守る会」が青少年健全育成の場として建設した「沖縄少年会館」であり、当時は、その規模・施設等、最も進んだ教育施設として、沖縄の青少年健全育成に果たした役割は多大なものがあつた。しかし、その後、館の運営を維持することが財政的に困難となったため、昭和54年4月1日付けで那覇市に譲渡され、久茂地公民館として生まれ変わった。

昭和54年 4月 4日	公民館の施設提供が開始された。
5月8日	プラネタリウム事業が開始された。
昭和60年 4月23日	久茂地公民館利用団体連絡協議会発足（70団体）
平成 2年 4月19日	久茂地公民館10周年記念誌が発刊された。
12月 7日	第20回沖縄県公民館研究大会において優良公民館として表彰される。
平成 9年10月30日	第50回優良公民館として文部大臣表彰を受ける。
平成23年 4月30日	施設の老朽化のため休館した。なお、休館に際し、4月29日・30日にプラネタリウムの最終投影会を開催した。
平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止された。

牧志駅前ほしぞら公民館の沿革

牧志駅前ほしぞら公民館は、平成23年7月8日、久茂地公民館の機能を移転する形で開館した。同館は牧志・安里地区市街地再開発地域（愛称「さいおんスクエア」）における12階建て複合施設の3階に、プラネタリウムのある公民館として、牧志駅前ほしぞら図書館とともに設置された（1・2階は商業・宿泊施設、4～12階は宿泊施設）。この複合施設の建築工事は、平成21年11月9日に着工し、平成23年3月18日に竣工した。

平成23年 7月 8日	久茂地公民館が廃止され、同館の機能を移転する形で、牧志駅前ほしぞら公民館が開館し、館長 田端研二が発令された。なお、同日から7月10日までの3日間、さいおんスクエアのまちびらきまつり開催に合わせて、公民館のオープニングイベントを開催し、多くの市民で賑わった。
平成23年11月28日	牧志駅前ほしぞら公民館利用団体連絡協議会の設立総会が開催された。
平成24年 3月	旧沖縄少年会館 旧那覇市久茂地公民館 旧那覇市立久茂地図書館記念誌が発刊された。
平成27年 3月 4日	第67回文部科学大臣優良公民館の表彰を受ける。
平成27年 9月 5日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数10万人達成する。
平成28年 4月 1日	館長 田端研二配置替えにより、館長 比嘉徳広が発令された。
平成30年 4月 1日	館長 比嘉徳広配置替えにより、館長 田端研二が発令された。
令和 2年 4月 1日	館長 田端研二退職に伴い、館長 末吉雪乃が発令された。
令和 4年 1月27日	牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム観覧者数20万人達成する。
令和 5年 4月 1日	館長 末吉雪乃配置替えにより、館長 富村奈央が発令された。

Ⅱ 令和5年度牧志駅前ほしぞら公民館事業目次

1	学習風景（写真）	179
2	成人一般対象事業	
〔1〕	市民講座	
◇	10歳の少女は、戦争（つしま丸遭難）をどう生き抜いたのか	180
◇	頑張らないウォーキングで健康づくり！	181
◇	輝いて生きる～二度の白血病を乗り越えて～	182
〔2〕	成人講座	
◇	星のソムリエ 星空案内人になろう	183
3	高齢者対象事業	
〔1〕	高齢者学級	
◇	ヒップホップダンスで心も！体も！健康に!!	184
◇	あなたのチャレンジを応援!!シニアのための「スマートフォン体験」講座～入門編～	185
4	青少年対象事業	
〔1〕	少年教室	
◇	きらきらガラスアート	186
◇	ニューススポーツ体験	187
◇	絵画（お絵かき）教室	188
〔2〕	青年講座	
◇	カッコいい大人になるために	189
〔3〕	親子ふれあい教室	
◇	親子星空教室	190
◇	パパと一緒に楽しむ♪HIP HOPダンス！	191
5	家庭教育事業	
〔1〕	家庭教育学級	
◇	沖縄県内で唯一開催！「“わが街なは” de楽しく学ぶ『宇宙の学校』」	192
〔2〕	乳幼児学級	
◇	にゅうじランド～リラックス編～	193
◇	にゅうじランド～チャレンジ編～	194
6	その他の事業	
〔1〕	地域連携事業	
◇	壺屋まちまーいと壺屋でぶくぶく茶体験	195
◇	RBCiラジオ「アップ!!」水曜防災コメンテーターと歩く『安謝ぶらり』	196
〔2〕	プラネタリウム事業	
◇	部分日食 Live配信	198
◇	星と音楽のコラボ 「Welcome summer ～星降るジャズナイト～」	199
◇	プラネタリウム たなばた投影	200
◇	夏休み天体観察会	201
◇	特別投影ペルセウス座流星群	202
◇	プラネタリウム100周年記念特別投影 星の伝承者が語る～沖縄の星をたずねて～	203

◇わくせい観察会・・・・・・・・・・・・・・・・・・	204
◇全国一斉 熟睡プラ寝たリウム・・・・・・・・・・	205
◇星空の魅力発見～玉城で星空観察～・・・・・・・・	206
◇プラネタリウム100周年特別投影 ～フシバリ 沖縄の星と言葉と物語～	207
◇星と音楽のコラボ「星がつなぐ音の調べ」	208
7 公民館まつり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・	209
◇ほしぞら公民館まつり特別企画「プラネタリウムおまつり投影」	212

1 学習風景



市民講座

「10歳の少女は、戦争（つしま丸遭難）をどう生き抜いたのか」



高齢者学級

「ヒップホップダンスで心も！体も！健康に!!」



少年教室

「きらきらガラスアート」



家庭教育学級

「宇宙の学校」



地域連携事業

「RBCi ラジオ「アップ!!」水曜防災
コメンテーターと歩く『安謝ぶらり!』」



プラネタリウム事業

「夏休み天体観察会」

2 成人一般対象事業

〔1〕 市民講座

10歳の少女は、戦争（つしま丸遭難）をどう生き抜いたのか ～平和のために今できること～

趣 旨：対馬丸生存者の生の声、そして戦争体験を綴った絵本の朗読を聴き、改めて平和の有難さを感じ、平和のために今できる事を考える機会とする。

期 日：令和5年6月18日（日）

時 間：14:00～15:30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人

受 講 料：無料

定 員：50人 申込人数：事前申し込み41人

参加延べ人数：70人

講 師：平良 啓子（対馬丸遭難生存者語り部）

出 演：当館利用団体（朗読を楽しむ会・那覇少年少女合唱団）

協 力：沖縄原爆展を成功させる会・牧志駅前ほしぞら図書館

★★ 学習プログラム ★★

時 間	内 容	参加人数
14:00～ 14:45	対馬丸遭難から生き抜いた体験談とそれを通して、平和のメッセージ	70人
14:55～ 15:30	平和朗読「つるちゃん」 合唱「世界中の子どもたちが」「月桃」「ねがい」「翼を下さい」	

※ロビー：沖縄戦と原爆展（16日～18日）

※ホール会場内：平和関連絵本展示（18日）



【参加者の声】

- ・久々に平和を考えて、涙を流した。
- ・啓子氏の話をもっと聞きたかった。平和の大切さをしみじみ感じました。
- ・生きる執念すごい。私も頑張る。
- ・朗読も合唱も素晴らしい。合唱の先生が楽しむ姿も良かった。
- ・戦争は怖くておろかと知りました。
- ・もっと詳細の録音盤はあるのでしょうか。沖縄へ戦争の終わる前に戻られた事など、もっと聴きたいと思いました。

【まとめ】

これからの時代を担う子ども達へ平和について考える機会となるよう構成しましたが、大人の方の興味関心が強いようで、大人の参加者が多かったです。また、子どもの集中力を考え、講話の時間を45分に設定しましたが、大人の方からは、もっと聴きたいとの感想がありました。

今回出演、展示で協力してもらった関係者からは、これからも協力していきたいとの声があったので、次年度に繋げていけたらと思います。

残念ながら、講話をして下さった平良啓子氏が、令和5年7月に亡くなられました。ご冥福をお祈りいたします。



頑張らないウォーキングで健康づくり！

趣 旨：本市では、急速な高齢化と癌・心臓病・脳卒中・糖尿病等の生活習慣病の増加及び、それに伴う介護が必要な状態になる人の増加は社会の質の低下や社会負担の増加等を招いて、深刻な社会問題となっている。市民の健康意識の向上を図るため、いつでもどこでも気軽に始められる「ウォーキング」を取り入れ、正しい姿勢で歩くメリットや呼吸を意識して歩くこと等を学び、より日常に活かせる健康づくりを提供し、身体の健康のみならず心の健康に役立つことも体感し、人生100年時代に向け必要な機能の維持及び向上のための一助とする。

期 間：令和5年10月8日・15日・22日・29日（全回日曜日の10:00～12:00）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市内在住・在勤・在学者で医師から運動制限を受けていない人

受 講 料：無料（但し、保険料・乳がん自己検診補助具代900円は自己負担）

定 員：20人

申込人数：26人（うち受講決定人数21人）

参加延べ人数：56人

講 師：儀間 ゆかり（アフアフ《健康》ウォーク 代表 / わった一保健室 副代表）

協 力：市民スポーツ課

★★ 学習プログラム ★★

回	期 間	内 容	参加人数
1	10月8日（日）	【講話】正しい姿勢で歩くメリット 【実践】基本の立ち方・歩き方	17人
2	10月15日（日）	【講話】靴選びのポイント・呼吸法 【実践】呼吸を意識して歩く	15人
3	10月22日（日）	【講話】ウォーキングと乳がん（セルフチェック法） 【実践】基本の立ち方・歩き方の復習、椅子の座り方	14人
4	10月29日（日）	【講話】マインドフルネス ～こころと身体は繋がっている～ 【実践】歩行禅	10人



【参加者の声】（抜粋）

- ・歩き方の実技だけでなく、マインドフルネス、身体と心のあり方の講義もあり、心と体を見直す良い機会になりました。
- ・すごく勉強になりました。続けます!!また、ステキな公民館また利用したいと思います。普段の生活の中で健康づくりしていきます。

【まとめ】

講座初日には、受講者から当講座への“参加目的”や“講座終了後にはどうなっていたいか”を発表させる等目的意識を持たせての進行となりました。20代から70代まで様々な年代の人達がともに“健康づくり”に取り組む姿にお互いに刺激を受けたようです。今後も日常生活の中での健康づくりに着目し講座ができればと思います。

輝いて生きる ～二度の白血病を乗り越えて～

趣 旨：若い世代の自死が増えている昨今、いのちは自分だけのものなのか考えさせられる。二度の白血病を乗り越えて、「生かされて生きる」ことを知った高島輝一朗さんから、闘病生活当時のことを話していただき、改めていのちの尊さを考えるきっかけとなることを目的とする。

期 日：令和5年12月16日（土） 13：30～15：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人

受講料：無料

定 員：100人

申込人数：59人（うち受講決定人数59人）

参加延べ人数：48人

講 師：高島 輝一朗 （元野球選手）

★★ 学習プログラム ★★



時 間	内 容	人 数
13：30～	講話：15歳の発症時の様子から、長い闘病生活が始まるまでの心境を語る。人生の中で「もうダメだ」と思ってから、周りの人に「支えられて生きている」ことへの感謝の気持ちに変わり、「ドリームサポーター」として歩み出すまでを語っていただいた。	48人
14：30～	質疑応答	



【参加者の声】

- ・今ある日常が当たり前ではないこと、命は自分だけではなく周りにいるみんなのものでもあるということ、あきらめないことを学びました。講演会に参加して良かったです。（10代）
- ・夢を追いかけることも大切ですが、「弱い自分を許してあげられる」大切さを学びました。（50代）
- ・「ドリームサポーター」いい言葉です。私も誰かのドリームサポーターになりたいです。（60代）

【まとめ】

企画当初は、青年講座として座談形式での開催を考えていたが、「多くの人に聞いてもらいたい内容」との声で、市民講座の講演会となった。質疑応答では、「沖縄戦で多くの犠牲者が出て生存者が少なくなってきた今、“命どう宝”を特に若い世代に学校で話していただきたい」という声があった。10～80代までの多くの方々に話を聞いていただき、幸せとは何なのか、日常のありがたさ、命の尊さについて考えるいい機会になったと思う。中には学校関係者もいて「是非、うちの学校でも講演を」「子どもの通う学校でもやって欲しい」という声もあった。これを機に、学校等での講演につながると嬉しい。

〔2〕 成人講座

星のソムリエ 星空案内人になろう

趣 旨：星空と宇宙の基礎知識、望遠鏡の原理や使い方、
星空案内を行う際の楽しみ方や注意点を学び、
実際に地域などで活躍する星空案内人としての人材を育てる。

期 間：令和5年9月9日（土）～12月9日（土）（全8回）

時 間：18:00～20:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館

対 象：星や宇宙が好きな16歳以上の人

受 講 料：無料

定 員：20人

申込人数：60人（うち受講決定人数20人）

参加延べ人数：104人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	科目	講 師	参加人数
1	9/ 9（土）	さあ、はじめよう	必須	垣花正男（元プラネタリウム操作技師）	19人
2	9/16（土）	星座をみつけよう	選択	田端研二（元ほしぞら公民館長）	17人
3	10/ 7（土）	星の文化に親しむ	選択	田端研二（元ほしぞら公民館長）	11人
4	10/28（土）	望遠鏡のしくみ	必須	米原英樹（宇宙少年団名護分団長）	13人
5	11/ 4（土）	望遠鏡を使ってみよう	選択	米原英樹（宇宙少年団名護分団長）	12人
6	11/25（土）	宇宙はどんな世界	選択	福里美奈子（プラネタリウム操作技師）	10人
7	12/ 2（土）	星空案内人の実際	必須	田端研二（元ほしぞら公民館長）	12人
8	12/ 9（土）	認定式・閉校式	—	田端研二（元ほしぞら公民館長）	10人

【参加者の声】

- ・今迄はただ好きだ（星や空が）、興味があるってだけで何もしてこなかったのですが、今回勉強させて頂く機会をもらってとても感謝しています。
- ・プラネタリウムで星の見つけ方等を知れて楽しかったです。星座盤を活用したいと思いました。
- ・今回、望遠鏡のしくみを学びたかったのでとても勉強になりました。初心者にはもう少し基礎からの内容じっくりやりたいです。
- ・引き続き、星空について勉強したいなと思います。ありがとうございました。

【まとめ】

今年で14回目となる星空案内人講座は、星や宇宙に関する幅広い知識を得られるため、毎年受講希望者が多い講座である。今回も受講者20名の内11名が星空準案内人の認定を受けており、今後も星や宇宙に関する知識を学んでいく姿勢が見えて嬉しく感じた。ただし、想定より専門的な内容だったのか、途中リタイアする方もいたため、より初歩的な星に関する講座を行っていくことも検討していきたい。



3 高齢者対象事業

〔1〕 高齢者学級（ふれあい大学）

ヒップホップダンスで心も！体も！健康に！！

趣 旨：わが国においては、総人口に占める高齢者人口の割合が2022年は29.1%で超高齢化社会を迎えている。本市においても、2017年3月末時点で24.6%まで上昇する見通しとなっている。そのような中、高齢者の健康づくりは急務の一つと考える。当講座を通して、体を動かすことによる健康の維持・増進に関する意識の向上と他者との関わり、ふれあいの中で生きがいと活力に満ちた日々を過ごしていける高齢化社会づくりを目指す。

期 間：令和5年9月5日（火）～10月6日（金）（全5回）

時 間：10：00～12：00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市内在住・在勤の60歳以上の人で、医師から運動制限を受けていない人

受 講 料：無料（但し、保険料として500円は自己負担）

定 員：20人 申込人数：45人（うち受講決定人数45人）

参加延べ人数：175人 講師：前川 萌（ダンス講師 / 振付師）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
1	9月5日（火）	①ストレッチ、ウォーミングアップ ②基礎のダンスステップを覚える ③②で覚えたステップを使いながら曲に合わせて踊る	41人
2	9月15日（金）	①②は前回と同様 ③課題曲の振りを覚える	38人
3	9月22日（金）	前回と同様	31人
4	9月29日（金）	①②は前回と同様 ③課題曲の練習	33人
5	10月6日（金）	～成果発表会、“嘉手納シニアヒップホップクルー”との交流会～ ①当館受講生の課題曲の披露 ②“嘉手納シニアヒップホップクルー”のダンス披露 ③お互い交えての交流レッスンならびにグループごとに披露	32人



【参加者の声】（抜粋）

- ・とても楽しかったです。リズムとステップ、手足の動き、二つのことを同時にするので頭の刺激になりました。ぜひ、またしてください。先生も若くてサイコーです（年寄り相手に）

【まとめ】

定員をはるかに超える受講申込者すべてを受け入れての講座開設となりました。人生100年時代と言われる今、「人とかかわり、体を動かす」ことの大切さを体感し、受講者自身の健康づくりに弾みがついたようです。今後も気軽にチャレンジできる健康づくりを提供することができればと思います。

あなたのチャレンジを応援!! シニアのための「スマートフォン体験」講座～入門編～

趣 旨：2021年（令和3年）9月1日のデジタル庁設立以降、デジタル社会の実現に向け様々な施策が取り組まれている。本市でも、市民・事業者視点ならびに職員視点によるDXが推進されている。しかし、沖縄県内ではスマートフォンが普及した今でも、ガラケーの保有率は全体の25.4%（インターネット「ねとらぼ調査隊」2021年データより）と全国一位を占めている。今後ますます社会全体でデジタル化が進み、浸透していくことが考えられることから、まずは、当講座を通してスマートフォンの利便性を体験させ、少しでも不安を取り除き、日常生活をより充実させることができるツールの一つであることを認識させるとともに情報格差解消に向けた取り組みの一助とする。

期 日：①令和5年10月17日（火） ②10月31日（火）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 パソコン室

対 象：那覇市内在住・在勤・在学の60歳以上の人

受 講 料：無料 定員：①②とも各20人

申込人数：①21人（うち受講決定人数21人）

②20人（うち受講決定人数20人）

参加延べ人数：36人

講 師：スマホアドバイザー（ソフトバンク株式会社より派遣）

協力部署：企画調整課 DX推進室

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	参加人数
1	10月17日 (火)	※両日とも、同じ内容で実施 【座学編】 1. ガラケーとスマホの違いについて 2. スマホの特長について	16人
2	10月31日 (火)	【実機体験編】 1. スマホならではの楽しみ方について (①地図 ②カメラ撮影と写真 ③LINE ④音声アシスタント) 【まとめ】 1. 質疑応答 2. 本市の電子システムの紹介（市のSNS・電子図書等）	20人



【参加者の声】（抜粋）

- ・スマホは反復経験が必要なので、多く設けて欲しい。デジタル社会形成の為。
- ・自分の知らなかった分野が分かるようになって、とても嬉しいです。

【まとめ】

専門用語を分かりやすい言葉に置き換えての説明や、デモ機に触れながらの進行に受講者からは「丁寧でわかりやすかった」「楽しかった」「とても良かった」等の声が寄せられました。人生100年時代の今、スマホを使うことは認知症予防にも役立つことの一助として、今後はライフスタイルに合わせた活用法等も取り入れた講座を提供できればと思います。

4 青少年対象事業

〔1〕 少年教室

きらきらグラスアート

趣 旨：柔らかな光と圧倒的な色に触れることで感性を豊かにし、美しい作品を自らの手で作り上げる過程で課題解決能力や自己肯定感、創造性を高め、人生を豊かにする一助とする。

期 日：令和5年7月30日（日）

時 間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：市内の小学1～6年生とその保護者

受 講 料：材料費700円

定 員：30名

申込人数：104組（186人）

参加延べ人数：15組（28人）

講 師：内間 愛（日本ヴォーグ社認定講師）

助 手：内間 謙（日本ヴォーグ社認定講師） 内間 妙子（日本ヴォーグ社認定講師）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
7月30日 （日）	接着剤付きの鉛のリード線と特殊なカラーフィルムを1枚のガラスに貼って作品を作る。講師が準備したキットを完成させる。	28人 （15組）

【参加者の声】

- ・りどせんをくつけるのがたのしかた（1年生）
- ・めっちゃでかいのつくりたい。おしえてくれてありがとう（2年生）
- ・おしえかたがじょうず（1年生）
- ・親子で楽しい会話もできました。家では散らかしたり後片付けをしないので、こんなイベントに参加できて助かりました（保護者）
- ・丁寧に教えていただきありがとうございました。家で飾ります☆（保護者）

【まとめ】

子どもたちが楽しみながら創作活動ができるよう難易度を押さえつつ、一人ひとりの個性が発揮できるようにカラーフィルムの選択肢を増やし、何よりも親子で会話を弾ませながら作業できるよう、講師と密に調整を重ねました。

講師の内間愛先生の子どもたちに対する声掛けが上手で、積極的に質問しに行く子や、できた作品を自慢しに行く子たちが多くいました。

難易度を押さえた作品キットも好評で、小学1年生でも見事な出来栄となり、高学年の子たちは更に自分たちでアレンジを加えていました。それでも時間内に余裕をもって終わることができました。

今回参加できなかった親子20名ほどが、講師と直接連絡を取り、午後にグラスアート体験会を自主開催していました。事前の注目度の高さやアンケート結果からも、かなり期待値や満足度の高い内容であったようなので、形を変えて再度企画したいと思います。



ニュースポーツ体験

趣 旨： ニュースポーツの体験を通して、新しいことにチャレンジする達成感を味わう。また異世代が集う集団の中で、安全に楽しむためにルールやマナーを守る大切さを体験する。

期 日： 令和5年8月9日（水）

時 間： 13:00～16:00

場 所： 牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象： 那覇市在住・在学の子どもと保護者（3年生以下は保護者同伴）

受 講 料： 無料

定 員： なし

申込人数： 当日受付94人（受付名簿に記入あり）

参加延べ人数： 94人

講 師： 與座 正夫（沖縄県スポーツチャンバラ協会代表）

★★ 学習プログラム ★★



日 程	内 容	参加人数
8月9日（水）	ラダーゲッターや輪投げ、フライングディスクやチャンバラ、昔遊びの工作などを、ルール、マナーを守りながら楽しく遊ぶ。	94人



【参加者の声】

- ・初めて参加したが、子ども達が楽しめたのが良かった。 ・色々なスポーツが体験出来て良かった。
- ・チャンバラを上手に使えるようにしたいです。 ・みんなで楽しく遊べたのが楽しかった。
- ・夏休みは、子どもの遊ぶ所に悩んで、外も暑いのですが、公民館でイベントがあって良かったです。また機会があれば来たいです。
- ・ストラックアウトで抜いた時に褒めてくれたのが嬉しかった。

【まとめ】

親が忙しくて同伴できない小学生も友達と気軽に公民館講座に参加できるよう企画しました。友達同士で参加し、汗をかくほど楽しんでいる子や、親子で楽しんでいる子、学童や児童デイの団体の参加もありました。

参加者が増え密集してきたので、舞台をチャンバラコーナーにしたり、状況に合わせてブースの移動やスポーツの数を減らしたりもしましたが、「せまかった」と感想もあり、のびのび体験できるよう工夫が必要です。

児童デイのハンディキャップのある子と他の子が一緒にチャレンジする場面や、そこで出会った者同士で、交代でボールを投げ合ったりする様子もうかがえました。自然発生的に子ども同士で輪になってソフトバレーボールを始めるグループもあり、大人の指示ではない遊びの展開もあった。

絵画（お絵かき）教室

趣 旨：自由な創作を通して、絵って楽しいんだと感じてもらおう。その体験から視野の広がり、自己肯定感を高める一助とする。

期 日：令和5年8月20日（日）

時 間：13:00～16:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在学の小学校2～6年生

受 講 料：材料費100円

定 員：15組（兄弟は1組と数える）

申込人数：32組（39人）

参加延べ人数：13組（16人）

講 師：江谷 紋子（元美術教師・公認心理士・アートセラピスト）

助 手：又吉 一仁

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
8月20日（日）	- 水彩画の技法の説明と講師のデモンストレーション後、実践。 - 習った技法を組み合わせる自分の作品を創る。 - 作品に題名をつけ、皆に自分の作品を披露しながら感想を述べる。	16人（13組）



【参加者の声】

- ・歯ブラシでしゅしゅっするのが楽しかった。
- ・ひもで引っ張って描く絵が楽しかった。
- ・頭の中で想像することが楽しかった。
- ・色んな絵の名前ややり方を教えてくれたからもっと絵がうまくなりました。
- ・最後のスクラッチが難しかったけどうまくできてうれしかった。
- ・夜の9時までやりたかったです。
- ・大胆に絵をかいてうれしかった。ストレス解消できてうれしかった。
- ・自分の想像を働かせて、自由に出来たのが楽しかったです。



【まとめ】

楽しみながら絵を学び、自由な創作活動を通して、自己肯定感を高める一助となるよう、講師を、元美術教師であり、絵のセラピスト、公認心理士資格を持つ方に依頼し、1人1人への声掛けをお願いしました。そのため、定員を15組にしました。

「自由でいい」「間違いはない」との講師の方の声掛けに、子ども達は、3時間、創作活動を楽しみ、最後には自分の作品を創り上げ、発表しました。工夫点や感想を述べ、講師に褒めてもらったり、皆から拍手をもらい嬉しそう、イキイキしていました。

講師の手元にカメラを設置し、絵の技法の説明やデモンストレーションの時に、大きくスクリーンに映し出し、全員に見えるよう工夫したことで、スムーズに出来たと講師も喜んでいました。



〔２〕青年講座

カッコいい大人になるために

趣 旨：４月から新しい生活を始める人のために、新生活を始めるにあたり特に役立ちそうな、衣食住に関するライフハックを学ぶ場を提供する。みんなと楽しく学びながら、社会性や協調性を身に付け、自身を充実させ、自分らしいライフスタイルを見つけるための一助とする。

期 間：令和６年２月２６日（月）～３月１０日（日）全３回

時 間：１０：００～１２：００

（３月１０日（日）のみ１０：００～１３：００）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市在住・在勤・在学で、３回とも受講できる人

費 用：保険料・材料費として ２，０００円

定 員：１２人 希望者多数の場合は抽選

申込人数：８人（うち受講決定人数８人）参加延べ人数：２０人

講 師：①山口 耕治（洋服の青山 ファッションアドバイザー）②大瀨 知子（整理収納アドバイザー）③上江洲 儀克（ザ・ナハテラス 懐石料理店 真南風 料理長）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	人 数
１	２月２６日（月）	「衣」冠婚葬祭に合わせたスーツの着方とおしゃれな魅せ方	山口 耕治	６人
２	３月 ３日（日）	「住」省スペースでも上手に収納、部屋が映えるインテリアとは	大瀨 知子	６人
３	３月１０日（日）	「食」簡単なのに華やかに見えるおもてなしの料理の調理実習	上江洲 儀克	８人

【参加者の声】

- ・衣編：当たり前前のスーツの着こなしやパンツの丈の長さなどを大学に入学する前に知ることが出来て良かったです。ネクタイの色によって相手にアピールしたいイメージが変わることも驚きでした。
- ・住編：最近色に興味が出てきたので色を取り入れた片付け方法を学べて良かった。
- ・食編：上江洲シェフが優しくて面白くてサイコーでした。また料理講座をしてほしいです。

【まとめ】

募集当初、受講者の集まり具合が気になったが、募集を定員に達するまでとしたことで途中から２人増えた。年齢は１８～３９歳までと幅広く、席は同じ人が座らないように毎回くじ引きとし、回を進めるとに受講者同士が打ち解けていた。食編ではペア同士が調理で協力し合い、食事をしながらも盛り上がっていた。各回で、講師への質問がいろいろ出てよく聞いて興味をもっていることが伝わった。食編では時間が超過し、段取りに反省する点があったため改善していきたい。



〔３〕 親子ふれあい教室

親子星空教室

趣 旨：天体学習を通じて、豊かな情操と科学心を育てると共に親子のコミュニケーションを深める。
親子で宇宙や星座の学習をすることにより、子ども達の理科への感心を高める。

期 間：令和５年１０月１４日（土）～令和６年２月３日（土）（全５回）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム

第一学習室、実習室

対 象：那覇市在学の小学校４年生～６年生の親子

受 講 料：無料（但し、写真代・材料費３００円は自己負担）

定 員：２４人（１２組）

申 込 人 数：３３人（１７組）（うち受講決定人数 ２５人 １３組）

参加延べ人数：９０人（４３組）

講 師：田端 研二（元ほしぞら公民館長）、垣花 正男（元プラネタリウム操作技師）

福里 美奈子、玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	時 間	内 容	参加人数
１	１０月１４日（土）	１６：００～１８：３０	開講式、宇宙について 秋と冬の星座	２１人（１０組）
２	１１月２５日（土）	１６：３０～１８：３０	星座について学ぼう！	２１人（１０組）
３	１２月１７日（土）	１８：００～２０：００	望遠鏡の仕組みと使い方	１６人（７組）
４	１月１３日（土）	１６：３０～１８：３０	星座早見盤を作ろう	１８人（９組）
５	２月 ３日（土）	１６：３０～１８：３０	修了式、冬と春と夏の星座 ２０２３年お勧め天文現象	１４人（７組）

【参加者の声】

保護者・毎回違うテーマが、課題が良かったです。１年間の天文現象、時期を教えて頂き、楽しみができて良かったです。

子どもと一緒に空を見上げる時期が増えました。先日の流星群も一緒にきました。星空を見上げて何座かなとよく話しています！

児 童・楽しかった。工作したり観察できたりしてよかった。

まちの電気を消したら、こんなに星がいろいろあるなんてびっくりしました。また、星についていろいろ勉強したいです。

【まとめ】

アットホームな雰囲気の中、親子、そして講師と参加者とのふれあいを感じながら進めることができた。工作や望遠鏡の組み立て、クイズなどが特に人気が高く、子どもたちがさらに積極的に関わられるように工夫を重ねていきたい。



パパと一緒に楽しむ♪ HIP HOP ダンス！

趣 旨：私たちの生活とインターネットは切っても切り離せない時代となっている。家族といってもスマートフォン等を操作し、会話ではなく LINE でやり取りをする家族も増えつつある。それらはコミュニケーションがうまく取れない子ども達が増えている要因の一つと考える。本来、コミュニケーション能力は、生まれた時から家族との関わりの中で少しずつ育てていくことが大切なことでもある。そこで、当講座を通して人と人、そして親子で五感を使つてのコミュニケーションを図るとともに、子どもの“自己肯定感”を高め、更により良い親子関係の形成をめざす。

期 間：令和6年1月7日（日）～2月4日（日）全5回

時 間：13：00～15：00

※但し、14日のみ水曜日18：30～20：00、2月4日の時間は決定次第、連絡する。

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール

対 象：那覇市内在学の小学生とその保護者でヒップホップダンス

初心者の人、2月4日の成果発表に参加できる人

受 講 料：無料（但し、保険料ほかとして一組1,000円は自己負担）

定 員：20組 申込人数：9組20人（うち受講決定人数9組20人）

参加延べ人数：77人 **講 師：**前川 萌（ダンス講師 / 振付師）



★★ 学習プログラム ★★

回	期 間	内 容	参加人数
1	1月7日（日）	・ストレッチ ・基本のステップや手の動き ・振り付けの練習	13人
2	1月14日（日）	・ストレッチ ・前回の復習 ・新しいステップの練習	17人
3	1月24日（水）	・ストレッチ ・親子での練習 ・曲に合わせての練習	16人
4	1月28日（日）	・ストレッチ ・曲に合わせての練習 ・リハーサル	15人
5	2月4日（日）	第11回牧志駅前ほしぞら公民館まつりにて、成果発表	16人



【参加者の声】（抜粋）

～子ども編～ ・楽しかったです。もう一回やりたいです。

～保護者編～ ・毎回とても充実した講座で大満足です。講座が終わってしまってさびしいので、また何か見つけて参加したいです。知人にもぜひおすすめしたいです。

【まとめ】

どの親子も初めての「ヒップホップダンス」を体得しようと、子供の動きを保護者が、保護者の動きを子どもが動画撮影を行い、それを家庭に持ち帰り復習するなど限られた時間のなか親子で一生懸命に取り組む姿が印象的でした。当講座を通して、人とのコミュニケーションづくりや親子の絆を深めることができたと思います。今後も親子でコミュニケーション力を高めることができるような講座を継続できればと思います。

5 家庭教育事業

〔1〕家庭教育学級

沖縄県内で唯一開催！「わが街なは」de 楽しく学ぶ『宇宙の学校』

趣 旨：「宇宙」という壮大なテーマを通して、子どもたちには「好奇心」「冒険心」などを育ませるとともに「いのちの大切さ」にも気づかせる。また、保護者は子どもの最も近くにいる理解者として、子どもたちの多種多様な興味関心に合わせて日常的・継続的に向き合うことを意識づけ、さらに親子協力で絆を深め、家庭教育力向上の一助とする。

期 間：令和5年7月29日（土）～11月25日（土）全5回 時間：10:00～12:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 ホール、プラネタリウム

対 象：全回参加できる那覇市在住・在学の児童（小学1年～3年生）
とその保護者

受 講 料：無料（但し、材料費・保険料として1組1,500円は自己負担）

定 員：30組 申込人数：39組（うち受講決定人数39組82人）

参加延べ人数：281人（※児童の対象外の兄弟姉妹も含む）

講 師：田端 研二（子ども・宇宙・未来の会（KU-MA）会員）、福里 美奈子（当館プラネタリウム操作技師）、藤井 晴彦・比嘉 祐子（那覇市立森の家みんな）、東恩納 茜（国際海洋環境情報センター（GODAC））、澤野 健三郎（株式会社マリン・ワーク・ジャパン）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講師	参加人数
1	7月29日（土）	・開校式・プラネタリウム観覧（宇宙のこと） ・傘袋ロケットづくり	田端 研二 福里 美奈子	82人
2	8月12日（土）	・「水」のゲーム	藤井 晴彦 比嘉 祐子	62人
3	9月30日（土）	・「海の生物多様性について」 ・身近な海砂の観察	東恩納 茜 澤野 健三郎	51人
4	10月7日（土）	・プラネタリウム観覧（光害について） ・望遠鏡づくり	福里 美奈子 田端 研二	57人
5	11月25日（土）	・熱気球づくり・自由研究発表 ・閉校式	田端 研二	29人



【参加者の声】

～児童編～ ・めちゃくちゃ楽しくできてよかったし、色んな研究して、また来たいと思いました。

～保護者編～ ・身近に科学にふれることができて、ありがたいと思います。

・子供も楽しかったと思いますが、一緒に参加できたこと、また、学んだ内容が大人も楽しく興味があるものでした。

【まとめ】

普段なかなかできそうでできない内容に、親子で充実感を味わえたと思います。5ヶ月にわたる連続講座ではありますが、その間に親子で学ぶ楽しさや、家庭における教育の大切さ等を感じ実践して頂けることを願います。今後も当館の特性を十分に活かした講座ができればと思います。

〔２〕 乳幼児学級

にゅうじランド～リラックス編～

趣 旨：①わらべうたマッサージを通して、赤ちゃんは親の歌う子守唄で安心感を得て、親は赤ちゃんのやわらかい肌に触れることで幸せを感じる。また、親対象のヨガを併せて行うことで心と身体がほぐれリラックスモードに導いていけるような時間を提供する。

②絵本の読み聞かせを通して親子共に心が満ちて落ち着き、親子の絆が深くなる。そこから、EQ（心の知能指数）を高めて、豊かな親子での生活につなげる。

期 間：令和5年 9月21日（木）・28日（木）13：00～15：00（全2回）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 実習室・第4学習室（託児はホール）

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人 1～5ヵ月の乳児とその親

受講料：無料 但し、保険料200円は自己負担

定 員：10組 申込人数 9組（決定人数9組）参加延べ人数 32人

講 師：大城 智賀（うちなーベビマ講師 EQ 絵本講師 ママヨガ講師）

★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	9月21日（木）	わらべうたうちなーベビマ&産後ヨガ（親子） わらべ歌に乗せてベビーマッサージ 骨盤矯正 身体ほぐし	大城 智賀	16人
2	9月28日（木）	産後ヨガ&EQ 絵本よみきかせ講座（託児あり） 輪になって自己紹介 大人も絵本で童心に帰る	大城 智賀	16人



【参加者の声】

- ・ 6ヵ月未満の乳幼児学級がなかなかないので、もっと開催していただけると嬉しいです。今回参加して子育てがもっと楽しくなりそうです。
- ・ ベビーマッサージ、ヨガ、絵本とまとめて受講できて良かったです。同じくらいの子どもがいる方と話すことがなかなかなくて、そして講師が優しく楽しく受講出来て良かったです。

【まとめ】

今は男性も育児休業を取得することができるのでペアでの参加を期待しましたが、「産後ヨガ」ということもあり、男性の参加はありませんでした。月齢を1ヵ月からと低く設定し開催したことで、乳児を持つ親にとって、外に出るきっかけになったようで、産後初の外出という方もいました。受講後も自宅でわらべうたマッサージ&ヨガ、読み聞かせを続けていただいて、子育ての「今」が一番楽しいと思える時間を過ごして欲しいと思います。

にゅうじランド～チャレンジ編～

趣 旨：初めての育児や、2人目3人目の育児で日々忙しくしている両親を対象に、当講座を通して、子育ての「今」が一番楽しいと思えるよう、親が心にゆとりを持てるような学びを提供する。そして、子どもの健やかな成長のためのより良い家庭づくりと、家庭教育力の向上、さらに親同士が子育て情報を交換し、仲間づくりへの一助とする。

期 間：令和5年11月7日（火）・16日（木） 10:00～12:00（全2回）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 実習室・第4学習室（託児はホール）

対 象：那覇市在住・在勤・在学の人

3～10ヵ月の乳児とその親 ※託児あり

受講料：無料（但し、材料費800円の実費負担）

定 員：10組 申込16組（決定人数12組）参加延べ人数：48人

講 師：仲田 栄子（管理栄養士）

尾市 麻枝（クリエイティブメモリーズ公認アルバムアドバイザー）



★★ 学習プログラム ★★

回	日 程	内 容	講 師	参加人数
1	11月7日（火）	時期に応じた離乳食作り（デモのみ試食） レバー・白身魚のペースト 5倍がゆ 炊飯器で野菜スープ 冷凍の仕方 あんかけ	仲田 栄子	23人
2	11月16日（木）	アルバム作り（スクラップブックング） 両面使えるパタパタアルバム 写真選び 素材を好みでコラージュ	尾市 麻枝	25人



【参加者の声】

- ・ 離乳食を始めたばかりで自分なりに進めていたが、講座に参加して大体の様子が掴めました。楽しい食事時間になるように心がけながら、離乳食を進めていけたらと思います。
- ・ とても良い機会でした。男性がもっと参加できたら良かったな～。土日だったらもっといい。
- ・ リフレッシュできたのと、スクラップブックングは家族と共有することができて嬉しいです。

【まとめ】

男性の育児休業取得者がいて2回とも参加していただいた。他の方からも土日開催を希望する声があったので、次回は検討していきたいと思った。自己紹介の時に名前だけでなく「今、幸せだな～と感じる時」や「趣味」などを加えたことで、共感する方も多く仲良く楽しく過ごしていた。特にスクラップブックングは「もっと作りたい」という声もあったので、これを機に受講者同士でサークル化して、公民館が子育て世代に楽しめる場所として利用して欲しい。

6 その他の事業

〔1〕 地域連携事業

壺屋まちまーいと壺屋でぶくぶく茶体験

趣 旨：事業を通して壺屋やちむん通りの魅力と課題を知り、この地域を大切にしたい想いと共に環境整備への関心を持ち、自分にできる事を考える機会を提供する。

期 日：令和5年12月16日（土）10：00～12：00

場 所：壺屋やちむん通り（集合場所：てんぶす那覇前）

対 象：那覇市在住・在勤・在学の10歳以上（小学生は保護者同伴）

受 講 料：500円（保険料・材料費）

定 員：16人

申込人数：42人（うち受講決定人数17人）

参加延べ人数：18人（当日参加1人）

講 師：前半 宮城 保茂・平田 由美（NPO法人 那覇市街角ガイド）

後半 島袋 弘貴（うちなー茶屋ぶくぶく代表・壺屋やちむん通り会会長）

★★ 学習プログラム ★★

時間	内容
10：00～11：00	壺屋の歴史や文化の話を聞きながら、カーや拝所、文化遺産やすーじぐわーをガイドと共に散策する。
11：00～12：00	ぶくぶく茶の歴史に耳を傾け、点て方を見学しぶくぶく茶を味わう。壺屋やちむん通り会の取組みと現状、課題を聴く。

【参加者の声】

- ・何度も壺屋には足を運んでいたが、新しい発見は、案内ガイドの説明のお陰です。
- ・壺屋に住んでいる人たちもとても頑張っていると感じました。
- ・若い方の情熱を感じられて、頼もしく思いました。
- ・まちまーいで壺屋の現状を知ることが出来て良かった。地域ごとの課題は、個人の事情もあるので、簡単に解決できないかも知れないが、観光景観維持のためのクラウドファンディングでアカギの事に何かできないかとも思った。
- ・壺屋の住民の方々と、文化と街づくりがうまくいくと良いなと思います。

【まとめ】

観光地として定着している壺屋やちむん通りですが、景観の維持や後継者問題など課題があります。壺屋の魅力を感じてもらい、課題にも耳を傾け、関心を持ってもらうよう企画しました。感想に今後のやちむん通りへの思いも書いており、関心を持ってもらえたと思います。講座終了後も受講生は、講師の方と話が止まらず、関心と応援の気持ちを伝えている様でした。関心を持ってもらい、次のアクションまで移せるような企画構成にしたら、もっと深められたのではないかと思います。



RBCiラジオ「アップ！！」水曜防災コメンテーターと歩く『安謝ぶらり！』

趣 旨：日本のみならず外国でも自然災害が多発している昨今、自分事として防災力を高める必要がある。
 そのため地域の地形、危険個所を理解し、災害時の命を守る行動がとれるよう学ぶとともに、地域の文化を知ることによって地域とのつながりと愛着を深める。それらが防災力アップにつながる。

期 間：令和6年2月10日（土）～2月18日（日）全3回

時 間：10:00～12:00

場 所：①安謝市営住宅集会所 ②安謝公民館集合 ③安謝公民館

対 象：那覇市在住・在勤・在学の10歳以上の人

受 講 料：無料（但し、保険料100円は自己負担）

定 員：16人

申込人数：11人

参加延べ人数：54人

講 師：稲垣 暁（災害ソーシャルワーカー・社会福祉士・防災士）
 普久原 朝訓（安謝誌編集委員）



★★ 学習プログラム ★★

回数	日程	内容	講師	参加人数
1	2月10日（土）	安謝の歴史や文化に触れながら、地域の地形等の特徴を知る。オリジナルマップ作り。	稲垣 暁	20人
2	2月17日（土）	安謝を歩いてみよう。安謝川沿いや路地を歩く！旧安謝市場ってどこ？オリジナルマップ作り。	稲垣 暁	18人
3	2月18日（日）	安謝の昔の写真と地域の方から聴く昔の話。振り返り。	稲垣 暁 普久原 朝訓	16人



【参加者の声】

- ・マップを更に作りこみをしたいです。
- ・昔の話が聞けて良かった。今後も開催して欲しい。
- ・安謝の歴史を知る事ができ、良かった。又、災害時の対応を考える事ができた。
- ・安謝に引っ越したばかりで、色々知りたくて参加しました。今後も勉強したい。
- ・とてもためになる講座でした。また受講したいです。

【まとめ】

地域の民生委員児童委員協議会が共催として協力をしてくれた事で、地域の情報に詳しい方を紹介してもらえたり、受付や安全管理などしてもらえスムーズな運営に繋がった。地域の公民館や集会所で開催した事で、自治会長とも知り合え、地域とのつながりが広がった。また受講生からは、次回の地域連携事業の提案と一緒に何かできないかとの話もあり、今後も、連携事業を進めていきたい。

〔2〕 プラネタリウム事業

久茂地公民館の前身である沖縄少年会館から引き継いだプラネタリウムは、45年間もの間、青少年に科学の夢を与えてきた。しかし建物の老朽化により牧志駅前ほしぞら公民館に機能移転し、プラネタリウムも最新型のハイブリッド式へと生まれ変わった。

新機種の導入により、地球上での星空だけでなく、地球を飛び出し宇宙空間を移動することも可能で、過去や未来の星空など、時間軸の移動も容易となった。また、各地の風景を投影するなど、より臨場感あふれる演出となり、幼児から大人までを対象に、宇宙への好奇心を育んでもらう役割を引き継いでいる。

平成25年度より、一括交付金を活用して製作したオリジナル番組を投影している。

- 【観覧料】 (一般料金) 大人200円、高校生150円、小中学生100円
(団体料金) 大人160円、高校生120円、小中学生 80円
※那覇市内小中学生無料、未就学児全般無料、那覇市内65歳以上は100円
- 【所要時間】 約45分～50分(幼児番組は約40分)(学習投影は内容により1時間30分まで可能)
- 【定員】 1回の投影で84名まで。
- 【休演日】 月・火曜日、祝祭日・年末年始・慰霊の日(6/23)・機械点検日、番組調整・講座等使用日
- 【受付】 ≪一般投影≫ 観覧当日、投影30分前に観覧料を購入
≪団体投影≫ 10名以上の団体で、観覧一週間以上前に申請し許可を受ける。
市内所在団体は4月から、市外所在団体は5月から受付開始。
- 【プラネタリウム投影の一覧】 ※①～⑥と、10分～25分程季節の星空解説を合わせて行う。
- ①幼児対象番組 「月にはだれがすんでいるの?」「かめっちとぺんた」
「おーい!アカナー!夜空を見上げよう」
 - ②高学年対象番組 「宇宙船さいおん号で出発」「GO!メガシーサー!宇宙への夢、無限大」
「宇宙と島の大冒険 GO!メガシーサー!」
 - ③一般向け対象番組 「美ら島・星の旅」「月と星・島々の歳時記」「チムグクルをとりもどせ!」
「みんな生きている。宇宙・星・島々…」
 - ④うちなーぐち番組 「美ら島・星の旅」「残したい言葉・伝えたい想い」
 - ⑤小・中・高校生対象の学習投影 「学習番組」「時空を超えて～夜空の見方を大転換～(夏)、(冬)」
 - ⑥宇宙の最新情報、天文現象の解説

☆通常期(繁忙期以外)

	10:00	14:00	18:30		13:30	15:00	16:30
水	団体	団体		土	一般	一般	一般
木	団体	団体		日	一般	一般	
金	団体	団体	一般				

☆繁忙期(7月、那覇市立小学校の夏・秋・冬・春休みの期間)

	10:00	11:00	14:00	15:30	18:30
水	団体	団体	団体	一般	
木	団体	団体	団体	一般	
金	団体	団体	団体	一般	一般

	11:00	13:30	15:00	16:30
土	団体	一般	一般	一般
日		一般	一般	



部分日食 Live配信

趣 旨：日本の一部で観察することができる「部分日食」の様子をインターネットでライブ配信する。
 今回の部分日食は欠け方が小さく、気が付かないまま終わってしまう可能性が高いが、ライブ配信することで、太陽を直接見るなどを避けて安全に天文現象を見ることができる。

期 日：令和5年4月20日（木）
 時 間：13：30～14：30頃
 場 所：YouTube（那覇市牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム・操作技師チャンネル）
 対 象：動画視聴可能な方
 受 講 料：無料
 視 聴 回 数：190回

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	視聴回数
4月20日(木)	日食の仕組みと観察の方法 日食で太陽が欠ける様子を観察する	190回

【まとめ】

月によって太陽が隠される日食の様子を、望遠鏡と太陽投影板にて観察しYouTubeにて配信を行った。今回の日食はオーストラリアやインド洋の一部で皆既食や金環食が起こった。沖縄を含む日本の一部では欠け方が少ない（食分率 0.15）部分食だった。当日は残念ながら大雨が降っており、食の始め（13：35）から食の最大（14：21）までは配信を行いなんとか観察できないか粘ってみたが、日食の映像は全く出すことができなかった。那覇の空の様子他、事前に準備していた日食の仕組みや、これからの皆既日食のスケジュールなどで繋いだ。



2023年4月20日（木）
 金環皆既日食
〈那覇では部分食〉

注意：専用の日食メガネが無い場合は、ライブ配信等でご覧ください。
 太陽を直接見ると目に大けがをします。

食の始め：13時35分
食の最大：14時21分
食の終わり：15時5分

この日食を観望の際は、太陽メガネを必ず着用してください。

これから起こる皆既日食 一度は見てみたい！

2024年	4月8日	メキシコ・米国・カナダなど
2026年	8月12日	グリーンランド・アイスランド・スペインなど
2027年	8月2日	モロッコ・リビア・エジプト・サウジアラビアなど
2028年	7月22日	オーストラリア・ニュージーランドなど
2030年	11月25日	ボツワナ・南アフリカ・オーストラリアなど
...	...	...
2035年	9月2日	日本の北陸から関東・中国など



星と音楽のコラボ「Welcome summer～星降るジャズナイト～」

趣 旨：新型コロナも落ち着き活気のある夏を久しぶりに迎えようとしている。満天の星を眺めながら、軽快なジャズのリズムで明るく元気な気持ちを参加者に感じてもらう。これを機会にプラネタリウムにも興味を持ってもらう。

期 日：令和5年6月10日（土） 全2回
 時 間：（1回目）16：00～16：50 （2回目）17：30～18：20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：100人（各回50人）

申 込 人 数：1回目 153人（うち受講決定人数50人）
 2回目 176人（うち受講決定人数50人）

参加延べ人数：97人（1回目47人 2回目50人）

出 演 者：寓話カルテット
 ピアノ 屋良 朝秋、サックス 岩崎 文紀、ドラム 津嘉山 善栄、ベース 上原 淳

★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	16：00～16：50	プラネタリウムの星や映像を眺めながら、ジャズを生演奏で味わう。	47人
2	17：30～18：20		50人

【参加者の声】

- ・最高でした。とても豊かなおだやかな気持ちになりました。こんな素敵なイベントを企画してくれてありがとう。
- ・今年も参加ができ、とてもうれしく感激してしまいました。ジャズが大好きだった亡父を思い出し涙がとまりませんでした。このイベントがいつまでも続くことを願ってやみません。演奏、プラネタリウム、説明、とても良かったです。
- ・ストーリーになっていて良かったです。
- ・内容、選曲ともにすごく素敵でした。とても贅沢な時間でした！

【まとめ】

定員の4倍近くの応募があり市民の期待と要望があることを感じた。ジャズらしく重たくなならないようなストーリー仕立てにした。夏の星空とジャズの音楽がとてもよく合っていた。図書館との連携でジャズと星空のコーナーを図書館に設けてもらったので、参加者には投影後にも余韻を味わいさらに星とジャズについて興味を持ってもらえたと思う。



プラネタリウム たなばた投影

趣 旨：たくさんの人が星空を見上げる七夕の時期に、星空や宇宙に興味を持ち、プラネタリウムに多くの市民が親しむ機会とする。

期 日：令和5年7月1日（土）・2日（日）（2日間）

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：どなたでも（未就学児は保護者同伴）

観 覧 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円（那覇市在住・在勤・在学の人無料）

定 員：260人（各回52人ずつ）※事前予約制

申 込 人 数：7月1日（土）136人（うち受講決定人数136人）

7月2日（日）100人（うち受講決定人数100人）

参加延べ人数：236人

★★ 学習プログラム ★★

7月1日（土）

回数	時 間	内 容	参加人数
1	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	54人
2	15:00	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	43人
3	16:30	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空をみあげよう」	39人

7月2日（日）

回数	時 間	内 容	参加人数
1	13:30	幼児・小学校低学年向け 「かめっちとぺんた」	46人
2	15:00	幼児・小学校低学年向け 「おーいアカナー！夜空をみあげよう」	54人

【まとめ】

感染症対策の為席数を制限し、窓口が混雑しないように事前予約制とした。13時30分の回が特に人気ですぐに定員に達した。今回は事前予約制にしたことで、15時・16時30分の投影に案内ができ、丁度良く観覧者の人数を配分できたと思う。番組「かめっちとぺんた」には歌があり、子ども達が楽しそうに歌に合わせて手拍子してくれ、とても楽しそうに観覧してくれた。



夏休み天体観察会

趣 旨：夏休みの時期に見える星空と天文現象をプラネタリウムで学び、その後ベランダで天体望遠鏡を使い月や星を観察する。夏休みに星空をみてもらうきっかけを作る。

期 間：令和5年7月28日(金)・8月25日(金) 全2回

時 間：19:00～20:30

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム、ベランダ

対 象：那覇市在住・在勤・在学生（中学生以下は保護者同伴）

受 講 料：無料

定 員：100人（各回50人づつ）※事前予約制

申 込 人 数：7月28日(金)50人（うち受講決定人数50人）

8月25日(金)56人（うち受講決定人数56人）

参加延べ人数：98人

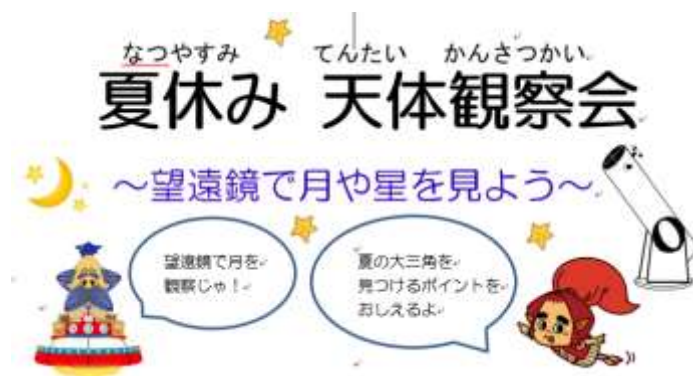


★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	7月28日(金)	前半（プラネタリウム）：夏の星座、月、流星群について 後半（天体観察会）：夏の天三角、月を観察する	42人
2	8月25日(金)	前半（プラネタリウム）：夏の星座、月、惑星について 後半（天体観察会）：夏の天三角、月を観察する	56人

【まとめ】

天体観察会はとても人気があるイベントで、会場が人で溢れないように安全面の考慮と待ち時間を少なくする為、事前予約制とし人数制限を設けた。1回目・2回目とも、予約受付開始後約20分で定員に達した。当日、天体観察会を楽しみに来館されても天候が悪く開催できない場合に備えて、前半をプラネタリウム投影、後半を天体観察会と組み合わせた。前半のプラネタリウムでは、夏の天三角、ペルセウス座流星群、月、惑星について解説をした。天体観察会では、1回目・2回目とも最初は天気が悪かったが、徐々に晴れて月を天体望遠鏡から観察する事ができた。天体観察を始める前にプラネタリウムで学習する事で、「星の探し方が分かった」「さらに理解が深まった」と、参加者から嬉しい感想をもらった。



特別投影ペルセウス座流星群

趣 旨：8月中旬に見ごろを迎えるペルセウス座流星群。流星群の見方や観察のコツや注意点についてプラネタリウムで学習し、天体観察の楽しさを学ぶ。

期 日：令和5年8月6日(日)、8月12日(土)、8月13日(日) 全3回

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：どなたでも(未就学児は保護者同伴)

観 覧 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円(那覇市内在住・在勤・在学の人無料)

定 員：156人(各回とも先着52人)

申 込 人 数：8月 6日(日)34人(うち受講決定人数34人)

8月12日(土)41人(うち受講決定人数41人)

8月13日(日)58人(うち受講決定人数58人)

参加延べ人数：133人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	時 間	内 容	参加人数
1	8月 6日(日)	15:00～15:45	流星群の仕組みや観察のコツ	34人
2	8月12日(土)	16:30～17:15	流星群の仕組みや観察のコツ	41人
3	8月13日(日)	15:00～15:45	流星群の仕組みや観察のコツ	58人

【まとめ】

台風6号接近の為、当初予定していた4日(金)・5日(土)の投影は休演となり、振替として12日(土)・13日(日)に投影を行った。本年度最初の天文現象についての特別投影だった。特別投影は番組がなく、オール生解説45分でテーマに沿って詳しく解説を行う。星空解説をじっくり聞きたい方に特に人気のある投影である。そして私達操作技師にとって特別投影は、事前に情報を収集し、より分かりやすく説明が伝わるように解説を工夫するので技術向上にも繋がっている。星空初心者から中級者まで楽しませるように引き続き頑張りたい。今回のペルセウス座流星群は、月明かりに邪魔される事無く観察ができるという条件が良い天体観察のため、プラネタリウムで流星群の観察のコツを学んだ後に、実際に見に行ったら流れ星をたくさん見たと後日観覧者から感想をもらった。今後も天体観察の楽しさが広がるように続けていきたい。



プラネタリウム100周年記念投影 星の伝承者が語る～沖縄の星をたずねて～

趣 旨：プラネタリウムが世界に初めて誕生してちょうど100年目となる10月21日に星の文化研究の第一人者である北尾浩一さんを招き、これまでの聞き取り調査により明らかになった沖縄の星の呼び名を解説してもらう。また、プラネタリウムという設備があるからこそ天気に左右されず、昼間でも星を見ながら学ぶことができることを感じて欲しい。

期 日：令和5年10月21日（土）

時 間：15：00～15：45

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

受 講 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円（那覇市在住・在勤・在学の人無料）

定 員：78人

申 込 人 数：81人（うち受講決定人数78人）

参加延べ人数：71人

講 師：北尾 浩一（星の伝承研究室主宰）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
10月21日(土)	北尾氏による聞き取り調査により明らかになった沖縄の星の呼び名について解説を行う。	71人

【参加者の声】

- ・北尾さん自らのプラネタリウムの語りに感動しました。
- ・北尾さんの優しい声と星空が合っていて眠たくなりました。また来たいと思いました。
- ・思ったより短かった。内容に関してはとても良かった。
- ・100周年の記念すべき日に講演に参加できてとても良かったです。
- ・ありがとうございました。今日の夜、星が見えたら良いなと。楽しかったです。
- ・星を詠んだ歌を聴く貴重な体験ができてよかったです。

【まとめ】

内容は専門的な話があったにも関わらず、アンケートでは多くの方から良かった、また聞きたいとのコメントをもらった。コロナ禍明けで、今回から座席数を78席まで増やした。定員を上回りキャンセル待ちまで出た。プラネタリウムがドイツで誕生して100周年という節目の年にふさわしいイベントができた。



わくせい観察会

趣 旨：見ごろを迎える土星と木星をプラネタリウムで詳しく解説し、ベランダで天体望遠鏡を使って実際に惑星観察をする。より星や宇宙に興味をもってもらう機会とする。

期 間：令和5年10月27日(金)・11月24日(金)・12月8日(金) 全3回

時 間：18:30～20:00

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館プラネタリウム、ベランダ

対 象：どなたでも（中学生以下は保護者同伴）

受 講 料：無料

定 員：150人（各回50人づつ）※事前予約制

申 込 人 数：10月27日(金) 53人（うち受講決定人数53人）

11月24日(金) 49人（うち受講決定人数49人）

12月 8日(金) 53人（うち受講決定人数53人）

参加延べ人数：155人

★★ 学習プログラム ★★

回数	日 程	内 容	参加人数
1	10月27日(金)	前半（プラネタリウム）：秋の星座と惑星について 後半（天体観察会）：土星を観察	53人
2	11月24日(金)	前半（プラネタリウム）：秋の星座と惑星について 後半（天体観察会）：土星を観察	49人
3	12月 8日(金)	前半（プラネタリウム）：秋の星座と惑星について 後半（天体観察会）：土星を観察	53人

【まとめ】

今回のわくせい観察会はより多くの方が参加できるように、わくせい観察会を一度参加された方は除いて募集をかけた。天候が悪い場合に備えて前半はプラネタリウム投影、後半をベランダで天体観察会とした。万が一、天体観察会が中止になったとしても、晴れた日に自宅から星が見たくなるように、プラネタリウムで秋の星座や惑星について解説をした。1回目の観察会では最初は曇り空だったが、徐々に晴れ、天体望遠鏡ドブソニアン25センチで土星を観察することができた。初めて見る土星に「写真を見ているみたい」「本物を見ているなんて信じられない!」と、参加者が大変喜んでいて、何度も列に並んで覗いている親子が何組もいた。2回目の観察会は残念ながら厚い雲が広がり観察会は中止となった。3回目の観察会の時には木星が観察する時間帯にのぼってきてはいたが、建物に隠れて見えなかった。それでも惑星の中で一番人気のある土星を参加者全員に見てもらえて良かった。「プラネタリウムも望遠鏡も楽しかった!」という声を子どもたちから聞くことができた。



全国一斉 熟睡プラ寝たリウム

趣 旨：兵庫県明石市立天文科学館の呼びかけで行われている『熟睡プラ寝たリウム』は全国的にも人気が

が高く、当館でも毎年行って欲しいとの声があがる。普段とは違った投影でプラネタリウムの星を眺めながらリラックスしてもらい星や天文への興味を持ってもらおう。

期 日：令和5年11月26日（日）全2回

時 間：（1回目）15：00～15：45 （2回目）16：30～17：15

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円（那覇市内在住・在勤・在学の方は無料）

定 員：156人（各回78人）

申 込 人 数：1回目 51人（うち受講決定人数51人）

2回目 31人（うち受講決定人数31人）

参加延べ人数：82人

★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	15：00～15：45	・ストレッチ体操 ・ニュージーランドの星空 ・アルゴ座の物語	51人
2	16：30～17：15	・ストーリー仕立てによる四季の星座の物語	31人

【参加者の声】

- ・心も頭もリラックスできました。最高です。
- ・初めてのプラネタリウム鑑賞とても良かった。次は通常の投影を見たい。
- ・夜寝る前に思い出して眠ろうと思う。

【まとめ】

プラネタリウムで眠るという特別なイベントは全国でも人気が高い。投影後の参加者の表情も満足した様子だった。今回は公民館チラシ配布とSNSを中心に広報を行ったが、特に2回目の投影は毎年参加者が少なめなので内容をアピールし集客に力を入れたい。

令和5年度 那覇市牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム事業



星空の魅力発見～玉城で星空観察～

趣 旨：街明かりから離れた玉城青少年の家の特性を生かし、玉城青少年の家と那覇市教育委員会との共催事業として星空観察会を行う。ふたご座流星群の好条件時に実施することで、星空の魅力を探求する機会をつくる。

共 催：沖縄県立玉城青少年の家

期 日：令和5年12月15日（金）

時 間：19:30～22:00

場 所：沖縄県立玉城青少年の家

対 象：小学生と保護者を含む家族

受講料：300円

定 員：8組（30人まで）

申込人数：13組44人（うち受講決定人数9組32人）

参加延べ人数：7組24人

講 師：福里 美奈子

補 助：田端 研二（元牧志駅前ほしぞら公民館館長）

★★ 学習プログラム ★★

日 程	内 容	参加人数
12月15日（金）	・天体望遠鏡で惑星（木星・土星）を観察する ・冬の星座を探す ・流星群について学ぶ	7組24人

【参加者の声】

- ・木星の縞模様や土星の環はずっとみたいと思っていたので本物を見れて感動した。
- ・一時は雨が降り心配だったが、たくさんの星が見えて良かった。流れ星一つ見れた。
- ・講師の進め方、詳しく説明してくれたのでとてもわかりやすかった。
- ・施設へ初めて来たが、環境が素晴らしく良い。次回は宿泊もしてみたい。
- ・あまり星や星座などには興味がなかったけど、このプログラムで星などに興味を持てたし、思っていたより楽しかった。

【まとめ】

昨年は天候不良で中止となり、今年度は雨天でも室内で行うことを予め決めていたが、今回は途中から天気が回復し星空観察を楽しんでもらうことができた。那覇や市街地では見ることのできない星の数に参加者はとても満足をしていた。共催事業として運営は玉城青少年の家が行い、星空解説は当館が行うこととなった。分担することで負担が減り、それぞれの特徴を十分に発揮しスムーズに事業を行うことができた。今後とも共催の星空観察会を行い、市民をはじめ多くの県民に星空の魅力を感じて欲しい。



プラネタリウム100周年記念投影 ～フシバリ 沖縄の星と言葉と物語～

趣 旨：近代的プラネタリウムが世界で初めて誕生して今年で100年になる。沖縄に初めてプラネタリウムが設置されたのは63年前の1960年で、1966年には全国初のレンズ式完全投影機が久茂地公民館の前身である沖縄少年会館に導入された。プラネタリウムの魅力を参加者に改めて感じてもらう機会とし、プラネタリウムという設備があるからこそ天気に左右されず、昼間でも星を見ながら学ぶことができること、そして沖縄ならではの星の文化を知ってもらう。

期 日：令和5年12月23日（土）

時 間：15：00～15：50

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：小学生以上（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：大人200円、高校生150円、小中学生100円（那覇市在住・在勤・在学の人無料）

定 員：78人

申 込 人 数：87人（うち受講決定人数78人）

参加延べ人数：65人

解 説：福里 美奈子（プラネタリウム操作技師）

朗 読：玉城 奈々（プラネタリウム操作技師）

★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	15：00～15：50	うちなーぐちで星の解説を行う 沖縄の星にまつわる民話をアニメーションで紹介 標準語で沖縄の星の呼び名などを解説する	65人

【参加者の声】

- ・このような機会を多く開催してほしいです。
- ・沖縄と星の関係が知れておもしろかったです。だれかに話たくなる内容でした。
- ・うちなーぐちが聞き取りやすく心地よかったです。
- ・那覇市在住ですが初めて利用しました。施設・内容（企画）スタッフ全て素晴らしかったと思います。
- ・解説する方のうちなーぐちを熱心に話されている姿に感動しました。沖縄でしかできない企画ですね。

【まとめ】

沖縄の文化を語るために沖縄の言葉を使えるようになりたいと思い、うちなーぐちの解説を初めて企画した。まだ拙い解説に批評も多いと覚悟したが、思いのほかうちなーぐちに対する温かいコメントが多かった。これからもこのような企画を行って欲しいという声に答えたい。小学生には難しい内容ではあったが、途中でアニメーションの民話を入れたので楽しんでもらえたようだった。



星と音楽のコラボ「星がつなぐ音の調べ」

趣 旨：ジャンルの違う楽器を合わせて星空を眺めて演奏を楽しむコラボならではの企画。
このイベントをきっかけにプラネタリウムや星空に興味を持ってもらう。

期 日：令和6年3月9日(土)

時 間：【1回目】16:00～16:50 【2回目】17:30～18:20

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：那覇市在住・在勤・在学の小学生以上の人（小学生は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：140人（各回65人 招待客各回5人）

申 込 人 数：【1回目】93人（うち受講決定人数71人）

【2回目】73人（うち受講決定人数66人）

参加延べ人数：135人（1回目：観覧者65人・招待客4人 2回目：観覧者61人・招待客5人）

演 奏 者：唄三線 仲嶺 良盛、ピアノ 北崎 幹大、チェロ 上地 趣

★★ 学習プログラム ★★

回数	時 間	内 容	参加人数
1	16:00～16:50	琉球古典、クラシックとジャンルは異なるが、300年前同じ時代に作られた曲を星空を眺めながらそのコラボを楽しむ。春の星座、沖縄に伝わる民話を聞く。	69人
2	17:30～18:20		66人

【参加者の声】

- ・はじめて聞いた曲もあったからおもしろかった。むかし話もあって楽しかった。せいざも分かった。楽しかったです。（小学生）
- ・とてもとても良かったです。即興はとても面白かったです。三線とピアノ、チェロの組み合わせがイメージできなかったのですが、参加するとこんなにも合うことにびっくりでした。とても素晴らしい時間をありがとうございました。（40代）
- ・ありがとうございました！チェロ、三線、ピアノのやさしいステキなメロディーが心にしみました。映像も素晴らしく、最高にステキな時間でした。（70代以上）

【まとめ】

唄三線、ピアノ、チェロの合奏、それぞれの独奏、そして即興を演奏した。今回初めて即興に挑戦したが、映像とよく合っていた。アンケートは大変好評で、感想欄では長文の感謝のメッセージをたくさん頂いた。



7 公民館まつり

公民館まつり風景

☆ 作品展示の部 ☆



☆ 舞台の部 ☆



☆ 社交ダンスパーティー ☆



入場無料

第11回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり

牧志駅前ほしぞら公民館で活動する、さまざまな団体・サークルが日頃の活動の成果を発表します!この機会に、お気軽にお越しください。

展示発表

1/29 月 >>>> 2/13 火

【前半】期間：1月29日(月)～2月4日(日)9:00～21:00 ※最終日は18時まで
出展団体：アートセッション、草月クラブ、百の会(実用かな書道)、全日本写真連盟沖縄支部
おれづみ句会サークル

【後半】期間：2月6日(火)～2月13日(火)9:00～21:00 ※最終日は18時まで
出展団体：百の会(実用かな書道)、水彩画サークル 星空、水色の会、洋裁サークルフレンド、
折り紙サークル 折りづる、グルッペ モノクロ、トコ・フルール、月書会、Nの会

舞台発表

2/3 土

全15団体

13:00～16:00

場所：ホール

○大正琴 ○日舞 ○パトン ○合唱 ○詩吟 ○ギター ○朗読 ○民謡 ○手話 ○三線
○ハワイアンフラ ○オカリナ ○フォークダンス ○ウクレレ ○ハーモニカ ○腹話術 ○太極拳
○サックス

2/4 日

全27団体

12:00～17:30

プログラムは
別紙をご覧ください

体験教室

2/3 土

パソコンでお絵かき(あした葉会)
日時：2月3日(土) 13:00～16:00
場所：第3学習室



囲碁体験

(ほしぞら子ども一基会、
なは一基会)

日時：2月3日(土)
13:00～16:00

場所：ロビー

2/4 日

将棋体験
(なは・おろく将棋サークル)

日時：2月4日(日) 12:00～14:00
場所：ロビー



プラネタリウム

2/4 日

おまつり投影

公民館まつり特別企画

ー 沖縄の昔話と星について ー

上映時間 ①13:30～ ②15:00～
各回40分

定員：78人(当日先着順)

場所：プラネタリウム

※詳細は別紙チラシまたはHPをご覧ください

2/4 日

おはなし会

牧志駅前ほしぞら図書館 特別企画

せかいのえほん おはなし会 韓国編

★国際交流員さんによる特別おはなし会

2月4日(日) 11:00～11:30 場所：第1学習室

※詳細は別紙チラシまたはHPをご覧ください



3/2 土

社交ダンスパーティ

3月2日(土) 17:00～

場所：ホール



主 催：牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 お問合せ：牧志駅前ほしぞら公民館 TEL 917-3443

第11回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり 舞台発表プログラム

2/3

場所:ホール

内容	出演団体名	開始時間
☆ 開 会	牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 委員長	13:00
1 大 正 琴	響き琴の会	13:10
2 日 舞	ばらの会	13:20
3 バ ト ン	ほしぞらバトン	13:30
4 朗 読	ほしぞら朗読を楽しむ会	13:40
5 民 謡	那覇婦連民謡研究会	13:50
6 詩 吟	くもし吟声会	14:00
7 合 唱	女声合唱団 那覇コール・コスモス	14:10
☆ 休 息	休 息 ~14:40	
8 民 謡	かりゆし沖縄民謡クラブ	14:40
9 ギ タ ー	ギターでうたごえ in ほしぞら	14:50
10 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ・ケアラオラオル	15:00
11 オカリナ	オカリナサークル「ボコ・ア・ボコ」	15:10
12 民 謡	はいひすかすの会	15:20
13 合 唱	アンサンブル・コウカール	15:30
14 詩 吟	岳精流吟和会	15:40
15 合 唱	うまんちゅ混声合唱団	15:50
☆ 閉 会		16:00

※プログラムに変更がでる場合があります。ご了承ください。

公民館へのアクセス

那覇市牧志駅前ほしぞら公民館
〒902-0001 那覇市牧志1丁目1番1号 (バス・スクエア 3F)
TEL 098-917-3443

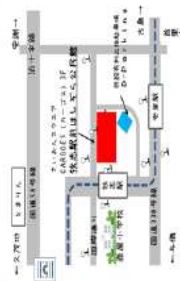
モノレール 「牧志駅」(徒歩約3分)
当館のあるビル2階と直結しています。
エスカレーターで3階へ上がり下でい。

バス

「海軍バスター」(徒歩約3分)
当館のあるビル2階と直結しています。
バス「海軍バスター」(徒歩約3分)
30、23、25、28、33、46、56、63、66、97、98、110、120。
[乗車時間] 15分(徒歩約5分) 30

自家用車

自家用車で来館の場合は、公民館敷地内に入庫してください。
公民館敷地内には、自家用車の駐車スペースがあります。
公民館敷地内には、自家用車の駐車スペースがあります。
公民館敷地内には、自家用車の駐車スペースがあります。



【併設立休施設】D-Parking さいおんスクエア
公民館前フロアは駐車場がご利用いただけます。

令和2年11月3日(日)の開催当日の社会が変更になりました。
【変更後】(併設立休施設)D-Parking
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円
入館料: 大人100円、小学生50円、幼児20円

第11回 牧志駅前ほしぞら公民館まつり 舞台発表プログラム

2/4

場所:ホール

内容	出演団体名	開始時間
1 大 正 琴	花宵流大正琴 すみれ	12:00
2 大 正 琴	沖縄琴正会・大正琴ずらん	12:10
☆ あいさつ	牧志駅前ほしぞら公民館まつり実行委員会 委員長	12:20
3 ウクレレ	ウクレレサークル ヒバヒバ	12:30
4 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ アリコ	12:40
5 ハ星山民謡	うつくし民謡サークル	12:50
6 フォークダンス	FDCアダージョ	13:00
7 合 唱	ドナウ女声合唱団	13:10
8 合 唱	新日本婦人の会 那覇支部 コーラスサークル	13:20
9 合 唱	歌声サークル クリスタル	13:30
☆ 休 息	休 息 ~14:00	
10 合 唱	グルッポ カサブランカ	14:00
11 合 唱	那覇少年少女合唱団	14:10
12 詩 吟	星空吟詠会	14:20
13 手 鼓	手鼓ストリートダンス ひまわり	14:30
14 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ ロケラニ	14:40
15 詩 吟	光世流 草吟会	14:50
16 ハーモニカ	ほしぞらハーモニカサークル	15:00
17 合 唱	女声コーラス「女声(みやらび)」	15:10
18 合 唱	女声合唱団「星砂」	15:20
19 ダ ンス	牧志駅前ほしぞら公民館「親子ふれあい教室」受講生	15:30
☆ 休 息	休 息 ~16:00	
20 腹 話 術	腹話術サークル	16:00
21 合 唱	女声合唱団「ローズ」	16:10
22 ナホコップ	Nahappy Crew	16:20
23 ハワイアンフラ	ハワイアンフラ アロハ プワイ	16:30
24 フルーツ	ラルズ・フルートコンサート	16:40
25 太 極 拳	沖縄太極拳研究会	16:50
26 三 線	久成地三線サークル	17:00
27 サックス	サックス同好会	17:10
☆ 閉 会		17:20

※プログラムに一部変更となる場合もあります。ご了承ください。



プラネタリウムおまつり投影

趣 旨：ほしぞら公民館まつりに併せておまつり投影を企画。沖縄の昔話やクイズ、ウチナーグチで星空解説を行い、沖縄と星の文化に興味を持ってもらう。

期 日：令和6年2月4日（日）全2回

場 所：牧志駅前ほしぞら公民館 プラネタリウム

対 象：どなたでも（未就学児は保護者同伴）

観 覧 料：無料

定 員：150人（各回先着75人）

申 込 人 数：1回目80人（うち受講決定人数80人）

2回目25人（うち受講決定人数25人）

参加延べ人数：105人



★★ 学習プログラム ★★

7月1日（土）

回数	時 間	内 容	参加人数
1	13:30	幼児～大人向け 「沖縄の昔話と星について」	80人
2	15:00	幼児～大人向け 「沖縄の昔話と星について」	25人

【参加者の声】

- ・おきなわむかしばなしがおもしろかったです。（保育園）
- ・まつりはじめてくるから、たのしかったです。（小学校1年生）
- ・昔話を知った。星座をいっぱい知った。すごかったし、楽しかった。（小学4年生）
- ・星座についての話をもっと多くても良かった。大人～子ども、年齢関係なく楽しめました。（うちなぐちも含まれているため）今の子どもは方言が分からないので、こういう場で方言にふれることはすごく大切な時間。ありがとうございました。これからも楽しみにしています。（30代）
- ・昔話は沖縄民話で内容は良かったです。孫と一緒に楽しめました。レパートリーが増える事を期待します。（60代）

【まとめ】

今回のおまつり投影は、オール生解説40分で解説員2人一緒に投影を行った。テーマは沖縄の昔話と星について。内容は沖縄の昔話「獅子のこつづけ」「海の動物」、ウチナーグチの星空解説を標準語付きで、そして沖縄にまつわるクイズをやった。イラストは温かみがでるようにすべて手書きで描き、参加者に楽しんでもらうために、登場人物や動物達の声をキャラ声で挑戦した。投影中はみんなの喜んでいる声が響き、すごく盛り上がった。13時30分の投影を見ようと、整理券配布時には80人以上の方が列を作った。市外の方も無料で観覧できたが、参加人数105人のうち市外の参加者は20人だった。市外に向けても告知をすれば15時の回の人数を増やし、今後リピーターとして繋げる事ができたかもしれない。次回は告知の仕方を検討し、さらに市内・市外にプラネタリウムの周知に力を入れたい。投影後、たくさんの方が「楽しかった！」「またやってください」と感想を言ってくれた。アンケートの評価も高かった。

